

たんけん！はっけん！やまだまち 子どもたちが町内を探索！

子どもたちに楽しみの機会を——と、新生やまだ商店街協同組合(昆尚人代表理事)が、8月31日、山田町中央公園で子ども向けイベント「たんけん！はっけん！やまだまち」を開催しました。同組合が御蔵山や役場、陸中山田駅など町内7カ所に関する23個の問題を出題し、参加者約30人が各所を探索。普段訪れる機会が少ない場所での問題に苦戦する人もいましたが、仲間と力を合わせ答えを発見すると、歓声を上げました。楽しく町内を回った後は、景品のアイスクリームに笑顔をこぼしました。



山田小の「海の生き物学習」 身近な生物に好奇心高める

身近な海に生息する生物を知り、自然環境への理解や学習意欲を高めてもらうようと、9月7日、山田小学校(三浦秀行校長、児童348人)の「海の生き物学習」が船越しもかわ公園で行われました。参加した3年生53人は、磯場や潮だまりにある岩の表面や石の下などからイソガニ、イトマキヒトデなど十数種類の生物を次々と発見し、鯨と海の科学館の指導員らに、形状や名前、生息場所を確認。「これ、なーに？」と、普段目にする事の少ない海の生物に好奇心を高めていました。

町長旗争奪野球大会 攻守ともに好プレー見せる

8月23日、第32回山田町長旗争奪スポーツ少年団野球大会が開催されました。大会は、町民総合運動公園野球場で行われ、山田野球スポーツ少年団とオール豊間根野球スポーツ少年団が出場。選手らは、練習の成果を発揮し、攻守ともに好プレーを見せていました。結果は、試合を制したオール豊間根野球スポーツ少年団が優勝。最優秀選手賞を受賞した田中輝樹選手(オール豊間根6年)は「声を出し合い打たせて取る野球ができた。次の大会に向けこれからも頑張りたい」と、意欲を見せていました。



全国土地改良功労者表彰(団体表彰) 山田土地改良区が銀章受賞

山田町土地改良区(瀬川智宏理事長)が全国土地改良功労者表彰(団体表彰)銀章を受賞しました。この表彰は、土地改良事業の推進に多大な貢献をした団体に贈られるもので、同団体は初の受賞。9月9日には、瀬川理事長らが町を表敬訪問し、喜びを報告しました。瀬川理事長から「関係機関のご支援ご協力により、素晴らしい賞をいただいた。引き続き、山田一の農場に向け頑張りたい」と、謝意が伝えられ、佐藤信逸町長は「この賞は皆さまの努力のたまものです」と、祝福しました。



町のわたい

今月の題字 尾川 ^{みつ}満輝君 (豊間根小4年)



山田町総合防災訓練を実施 「その時」に備え行動確認

9月6日、大地震・大津波を想定した山田町総合防災訓練が行われました。午前8時半に大地震が発生したという想定のもと、避難訓練を実施。町内16カ所の指定避難所などに町民271名が避難しました。また、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から訓練規模を縮小しましたが、町職員による感染症拡大防止に留意した避難所開設運営訓練、町民参加型の心肺蘇生法やAEDを使用した応急救護訓練のほか、防災指導車による地震体験訓練を実施。突然やってくる「その時」に備え、各自の行動を確認し、防災意識を高めました。



山高が浦の浜で「海の運動会」 共に汗を流し交流深める

8月26日、山田高校(宮学 校長、生徒111人)が浦の浜海水浴場を会場に海の運動会を開催しました。今回で20回目のこの運動会は、交流を続ける栗石高校(小原由紀校長、生徒77人)の1年生20人も参加。生徒たちは、台風の日やビーチフラッグ、カヌー競漕などの全6競技で汗を流しました。この日の最高気温は、30.5度の真夏日となり、あまりの暑さに海へ入る生徒が続出。競技後には、参加者全員で清掃活動を行い交流を深めました。実行委員長を務めた西村美海さん(3年)は「みんなで山田の海に触れ、交流を深めることができた」と、笑顔を見せました。

